

〈研究の構想〉

学校教育目標

思いやりのある子(やさしく)
よく考え進んで学ぶ子(かしこく)
明るくたくましい子(たくましく)

研究主題

「自己を見つめ、ともによりよく生きようとする児童の育成」
～互いの思いを伝え合い、豊かに関わり合う道徳教育をめざして～

仮説1

自己を見つめ、他者の考えを認め、関わり合う授業を展開することにより、**自己の生き方についての考えを深められる児童**を育成できるであろう。

仮説2

道徳環境の整備、豊かな体験活動をとおり、**夢を持ち、よりよく生きようとする児童**を育成できるであろう。

〈組織図〉

校長

教頭

教務主任（研究主任）

授業研究部

- 研究推進の方向性を話し合う。
- 研究計画の作成
- 指導案の形式などの検討
- 授業展開の工夫についての検討
- ペア学習、グループ学習の工夫
- 別葉の作成

調査・環境部

- 教室、校舎内の学習環境を整える。
- 道徳だよりの作成
- 教材、場面絵等の準備・管理
- 心に響く掲示物の作成
- 心を耕す体験活動の計画

鴻基スタンダード 道徳授業の基本型

研究主題

「自己を見つめ、ともによりよく生きようとする児童の育成」
～互いの思いを伝え合い、豊かに関わり合う道徳教育をめざして～

導
入

導入の工夫

- ①ねらいとする道徳的価値への導入(アンケートの活用、生活場面や物語の話、ねらいに対する考え 等)
- ②教材への導入(登場人物の紹介、物語のあらすじの説明 等)
- ③問題意識をもたせ、学習意欲を喚起する導入(意識と現実のずれ、視聴覚教材 等)



教材提示の工夫

- ・紙芝居・影絵・人形やペープサート・劇・ビデオなどの映像
- ・読み聞かせ・写真・音声や音楽・ICTの活用・デジタル教科書



展
開

発問の工夫

多面的発問

・登場人物の心情や考えを明らかにする

A 共感的発問

このとき登場人物はどんな気持ちだっただろう。

C 分析的発問

なぜ登場人物はこのように答えたのだろう。

共感的発問

・登場人物を自分に重ねて

分析的発問

・登場人物を客観的に見て

B 投影的発問

自分が登場人物だったら、どう答えるだろう。

D 批判的発問

登場人物のことをどう思うか。登場人物は正しかったのだろうか。

多角的発問

・自分自身の見方、考え方を意識する



キーワードは、
「必然性のある問いづくり」

- ・考えたいような問い
- ・考えざるをえない問い
- ・これまで考えたことがない問い
- ・自問・内省できるような問い
- ・自己の生き方や人間としての生き方について深く考えられる問い



話し合いの工夫

- 【形態】・全体 ・ペア ・グループ
- 【指導方法】
- ・討議形式やペア、グループ等の座席配置の工夫
 - ・話し合う人数の工夫
 - ・心の可視化(ハートメーター・心情円、ランキング、ネームプレート等の活用)
 - ・ICTを活用(ムーブノート、Jamboard)
 - ・板書を生かす工夫(順接的、対比的・構造的、中心部分を浮き立たせる板書等)



思考・表現の工夫

【表現活動】

- ・動作化 ・劇化 ・役割演技
- ・音楽や写真、動画
- ・構成的グループエンカウンター
- ・所作 ・ノート
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・表情 ・ワークシート
- ・その場に応じた身のこなし



【思考の可視化】

- ・心のものさし ・心情円 ・感情カード
- ・ネームプレート
- ・ICT(ムーブノート、Jamboard)

自己を見つめる活動の工夫

- 【自己の生き方を振り返り、自分の考えを深める】
- ・ねらいに対する考えの変化
 - ・これからの思いや課題
 - ・学習を通して考えたこと



終
末

終末の工夫

- 【振り返りの工夫】
- ・道徳ノート ・ワークシート ・役割演技
 - ・手紙 ・写真 ・新聞 ・雑誌 ・説話 ・動画
 - ・テレビやCM ・歌
 - ・制作(ありがとうの木、標語など)
 - ・「彩の国の道徳」の活用
 - ・日常生活の身近な話題



羽生選手がイナバウアーを披露することこだわった理由を考えるを通して、自分の存在は、多くに人々の支え合いや助け合いによって成り立っていることを理解し、尊敬と感謝で応えていこうとする態度を育てる。

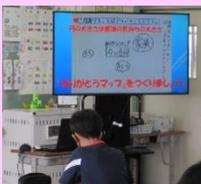
研究主題

「自己を見つめ、ともによりよく生きようとする児童の育成」 ～互いの思いを伝え合い、豊かに関わり合う道徳教育をめざして～

導
入

導入の工夫

・今の自分が感謝している人や物について考える。
【「ありがとうマップ」の活用】【道徳ノートの活用】



・羽生選手が活躍している動画を視聴し、関心を高める
【ICTの活用】

私は、家族や友だちに感謝しているな。

「感謝する」とはどういうことだろう。

教材提示の工夫

・登場人物、条件・状況を整理する。【板書の工夫】
・言葉の補足（「こだわり」「オリンピック」「イナバウアー」）
・イナバウアーの写真を提示する。【ICTの活用】



羽生選手は荒川さんを尊敬しているんだ。

展

発問の工夫

○羽生選手は、少しでも加点がほしい大事な試合で、得点にならないイナバウアーにこだわったのはなぜでしょうか。
【中心発問】
○羽生選手の行動やインタビューの言葉からどんな思いが伝わってくるでしょう。

スケートリンクや応援してくれた人への感謝を表しているのかな。

尊敬する荒川さんへの感謝の気持ちがあったんじゃないかな。

開

話し合いの工夫

3人組での話し合い

↓
意見を伝え合う
(考えを広げる)

↓
全体で意見を共有
(考えを深める)



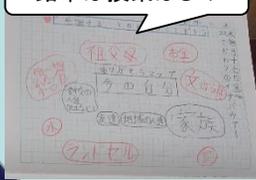
思考・表現の工夫

道徳ノートの活用
(ありがとうマップ)

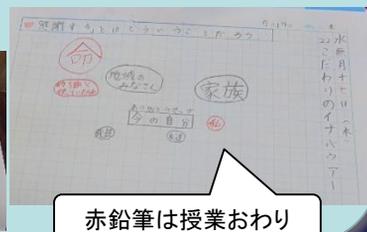
・授業を通して自分が感謝している対象が広がっていることを実感



鉛筆は授業はじめ



赤鉛筆は授業おわり



自己を見つめる活動の工夫

今までの自分を振り返り、これからの自分ができることを考える。
・支えられている人や物に感謝し、自分がこれからの生活でできることは？



終
末

終末の工夫

・児童がいつもお世話になっている方々や見えないところで支えてくれている方々、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために日々奮闘している方々のスライドショーを見る。



こんなにたくさんの人に支えられて生きているんだ。「当たり前」と思わず感謝して行動しよう。

板書記録



目の不自由な男の人に声をかけようかどうかで悩む「ぼく」の気持ちについて考えることを通して、相手の気持ちを思いやり、自分にできることは何かを考えて、進んで親切な行いをしようとする心情を育てる。

研究主題

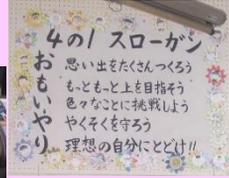
「自己を見つめ、ともによりよく生きようとする児童の育成」 ～互いの思いを伝え合い、豊かに関わり合う道徳教育をめざして～

導
入

導入の工夫

- ・学級目標の合言葉「おもいやり」から授業導入。
 - ・「思いやり」とはなんだろう？
- 学習の前にノートに書かせ、本時の学習課題へつなげる。
【道徳ノートの活用】

思いやりはやさしくすること。

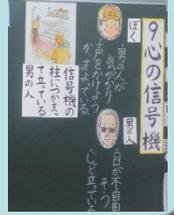


相手を思いやるとはどういうことだろう。

教材提示の工夫

- ・登場人物、条件・状況を整理する。【板書の工夫】
- ・横断歩道を再現し「ぼく」の思いに共感させる。【板書の工夫】
- ・総合的な学習の時間に行った福祉体験活動を想起させる。
- ・福祉体験のときの写真を提示する。【体験の想起】

この間の白杖体験は周りの様子が分からなくて怖かった。目の不自由な人は大変だな。



展

発問の工夫

- 三度も信号が変わったのに、そのまま待っていた男の人を見ていた「ぼく」は、どんなことを思っていたでしょう。
- 男の人のところへ行こうとしたのに足がゆっくりとなってしまったが、誰かに背中をたたかれたかのように声をかける決心をしたときの「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。【中心発問】 →この発問で十分に葛藤させる
- 「ぼく」はどんな気持ちで男の人を見送ったでしょう。

登場人物への自我関与を中心とした学習

開

話し合いの工夫

道徳ノートのハートに色分け(自分ならどうするか)

二重自我法による役割演技

道徳ノートに気持ちを書く。

代表児童による役割演技(考えを広げる)

道徳ノートのハートに色分け(自分ならどうするか)
(考えの変化を知る。自分に戻す。)

【役割演技(二重自我法)、道徳ノート】



思考・表現の工夫

役割演技(二重自我法)

・「声をかける」「声をかけない・かけられない」という対立する心の動きを自己内対話として表現させる。



でも、声をかけないと後悔してしまうかもしれないよ。



知らない人に声をかけるのは恥ずかしい。

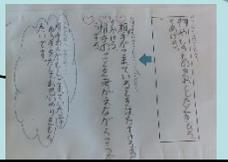
自己を見つめる活動の工夫

- 学習課題に答える。導入で書いた「思いやり」との変化に気づく。
- ・相手を思いやるとはどういうことだろう。【道徳ノート】

今までの自分を振り返り、これからの自分ができることを考える。

- ・今日学んだ「相手を思いやる」ということをこれからどう生かしたいか。【道徳ノート】

相手が困っていたら勇気を出して助けたい。



学習を通して考え方の変化を実感

終
末

終末の工夫

・「見える気持ちに」(テレビCM)の動画を見る。

【ICTの活用】

『心は見えないけれど、心づかいは見える。』

『思いは見えないけれど、思いやりは見える。』



困っている人の気持ちを考えて行動できるようになりたい。

板書記録



大劇場へ行くか少年のところへ行くか、自分だったらどちらを誠実かと考えるかという学習を通して、誠実に生きることのよさについて理解し、明るい心で誠実に生活しようとする心情を育てる。

研究主題

「自己を見つめ、ともによりよく生きようとする児童の育成」 ～互いの思いを伝え合い、豊かに関わり合う道徳教育をめざして～

導
入

導入の工夫

- ・アンケート結果を提示し、課題意識をもたせる。
- ・「約束」についての今までの自分を振り返る。
- ・ゆっくり語りかけながら、自然と本時のねらいへ導く。

【アンケートの活用】

約束を守れなかったことがある。
でも約束を守ることは大切なこと。



「誠実な人」ってどんな人だろう。

教材提示の工夫

- ・登場人物、条件・状況を整理する。【板書の工夫】
- ・前半と後半に分けて教材提示をする。
- ・紙芝居方式での教材提示。

葛藤場面でじっくりと考えられるよう、前半と後半に分割。資料の世界に浸らせる。



手品師、男の子のそれぞれの状況を整理

展

発問の工夫

- 手品師が男の子に「きつと来るよ。」と約束したのはどんな気持ちからだろうか。
- 大劇場での話が来たとき、**みんなならどうするだろう。**それはどんな考えからだろう。(中心発問)
→多様な考えを引き出すために、十分に時間をとる。
- どちらの考えにも**共通**している、**大切にしているもの**とは何だろう。
→児童が考える「誠実」について話し合い、深める。(価値理解)

投影的発問

分析的発問



開

話し合いの工夫

- ハートメーターで自分の考えを表現
- ↓
- その根拠を道徳ノートに記述
- ↓
- グループでの話し合い。意見を整理。
- ↓
- グループから意見を出し合う。
- ↓
- 全体でさらに深める。

【道徳ノートの活用、グループ討論】

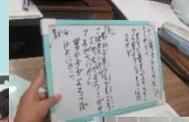


思考・表現の工夫

グループ討論

- ・大劇場での話が来たとき、みんなならどうするか。それはどんな考えからだろう。
- 当番グループを使い、役割を明確化。

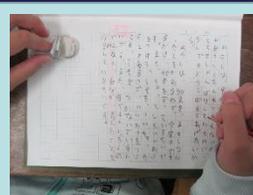
ハートメーターを活用し、自分の考えを伝える。



自己を見つめる活動の工夫

- 今までの自分を振り返り、これからの自分ができることを考える。
- ・これから自分はどうしていきたいですか。【道徳ノート】

今まで振り返ると、約束を破ってしまったことがあるけど、これからは約束を守りたい。また、自分でよく考えて行動していきたい。



終

末

終末の工夫

- ・教師の説話を聞く。余韻をもって授業を締めくくる。

先生が子どもの頃、3人の友だちと約束をしたけど、同時に約束をして全部守れなかったことがあるんだ。自分もつらい思いをしたけど、多くの友だちにいやな思いをさせてしまったよ。



板書記録



激しい嵐を前にしてぐみをりすに持って行くべきか葛藤する小鳥の気持ちを考えることを通して、親切にされた方だけでなく、親切にした方も温かい気持ちになることを理解し、進んで親切にしようとする態度を育てる。

研究主題

「自己を見つめ、ともによりよく生きようとする児童の育成」 ～互いの思いを伝え合い、豊かに関わり合う道徳教育をめざして～

導
入

導入の工夫

- ・親切にされてうれしかったことを話し合う。
- ・今までの自分を振り返り、親切にもらった経験を思い出させる。
「今まで、どんなことをしてもらったことがありますか。」

【アンケートの活用】

友だちに鉛筆を拾ってもらった。



親切とは、どういうことだろう。

教材提示の工夫

- ・登場人物、条件・状況を整理する。【板書の工夫】
- ・前半と後半に分けて教材提示をする。
- ・ICTを活用したパネルシアター方式での教材提示。

前半と後半に分割することで、児童の多様な意見を引き出す工夫。

大画面と音楽、手作り教材で臨場感あるパネルシアター。



展

発問の工夫

- ぐみの木にりすのことを聞いて、小鳥はどんなことを思ったでしょう。
- 病気のりすは、ぐみの実を持ってきてくれた小鳥にどんな気持ちで「ありがとう」と言ったでしょうか。
- 嵐がやむのを待っている間、小鳥はどんなことを考えていたのでしょうか。
- 小鳥は、りすに「こんな嵐の中をありがとう」と言われてどんな気持ちになりましたか。

小鳥への自我関与を中心にしながらも多面的・多角的な発問をする。

りすは？

ぐみの木は？

自分だったら？

開

話し合いの工夫

心情円盤で自分の考えを表現

ペアで意見の交換

自分の考えを深める。

全体でさらに深める。

【心情円盤の活用、ペアで話し合い】



思考・表現の工夫

役割演技

小鳥は、りすに「こんな嵐の中をありがとう」と言われてどんな気持ちになりましたか。



ハートで心情を可視化



お面、小道具でなりきる工夫

それぞれの立場で多面的・多角的に心情を記述

自己を見つめる活動の工夫

自分自身の生活を振り返り、これからどうしていきたいか考える。

- ・これから困っている人がいたときにどうしていきたいですか。【道徳ノート】

親切にすると、自分も相手もうれしい気持ちになるから、困っている人がいたら、親切にしたい。



終
末

終末の工夫

- ・自分たちの日々の行動についてのスライドショーを見る。
- 普段のクラスの様子で、「親切、思いやり」に関わりのある場面から、身近な人に進んで親切にしようとする気持ちを高めさせる。

そういえば、あの子親切にしたら、友だちがすごく喜んでくれていたな。なんだかほくもうれしいよ。



板書記録

